※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭基礎　気づく力築く未来」（実教出版）						
副教材等	家庭科 55 デジタル＋　資料集＋食品図鑑＋デジタルコンテンツ（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけします。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養います。

２　学習の到達目標

家庭や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。

生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	１章　生活設計	・生涯発達と発達課題 ・生活設計	a:生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考えて適切に判断し、表現する力を身につけている。 c:青年期の自立について、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	２章　自分らしい生き方と家族	・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律	a:家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 b:現代の家族の特徴や家庭の機能の変化などについて考えて課題を見いだし、その解決方法について表現する力を身につけている。 c:家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	３章　子どもとかかわる	・子どもとは ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉	a:乳幼児期の心身の発達と生活、家族・地域・社会の果たす役割を理解しているとともに、子どもと適切に関わり、子どもの健やかな発達を支える技術を身につけている。 b:子どもの発達と保育に、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決方法について表現する力を身につけている。 c:子どもの生活と保育について、課題の解決に向けて主体的に取り組み、自分や家庭の生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	7章 衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで	a:ライフステージや目的に応じた衣服の機能と着装について理解している。 b:衣生活と健康について、課題を設定し、解決策を模索し、適切に判断し課題を解決する力を身につけている。 c:衣服の機能や役割に関心を持ち、適切に判断して生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 被服実習 作品提出 実技テスト ふりかえりシート
	6章 食生活をつくる	・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理	a:食事と健康のかかわりや人の一生における食事の役割について理解し、安全な食生活を主体的に営むために必要な栄養、調理、食品衛生などについての知識を身につけているとともに、目的に応じた調理に必要な技術を身につけている。 b:現代の食生活の問題点について思考を深め、栄養的にバランスのとれた食事について日常の食事と関連付けて課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し課題を解決する力を身につけている。 c:自分や家庭の栄養と食事について、各自の食生活を振り返って改善したりして生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 調理実習 レポート
3学期	8章 住生活をつくる	・人間と住まい ・住まいの文化 ・住まいを計画する ・安全な住まい	a:住居の機能性や快適性について理解しているとともに、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身につけている。 b:住生活全般について課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート レポート
	9章 消費者行動を考える	・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任	a:消費者として適切な意思決定をするために情報リテラシーと批判的思考が重要である意味を理解している。 b: 批判的思考に基づいて情報を収集・整理し、その解決方法について表現する力を身につけている。 c: 自分の消費行動を省みながら、エシカルな消費行動に向けた実践的な態度を身につけている。	定期考査	定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	10章 経済的に自立する	・暮らしと経済 ・将来のライフプランニング	a: 家計の構成や収入、支出の特徴について十分に理解している。 b: 家計の管理について、自分の生活に関連付けて多角的に考察し、その解決方法について表現する力を身につけている。 c: 家計費のシミュレーションについて、将来の生活の充実向上を図るために適切に判断、生活の充実向上を図るため実践しようとしている	定期考査	定期考査	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度